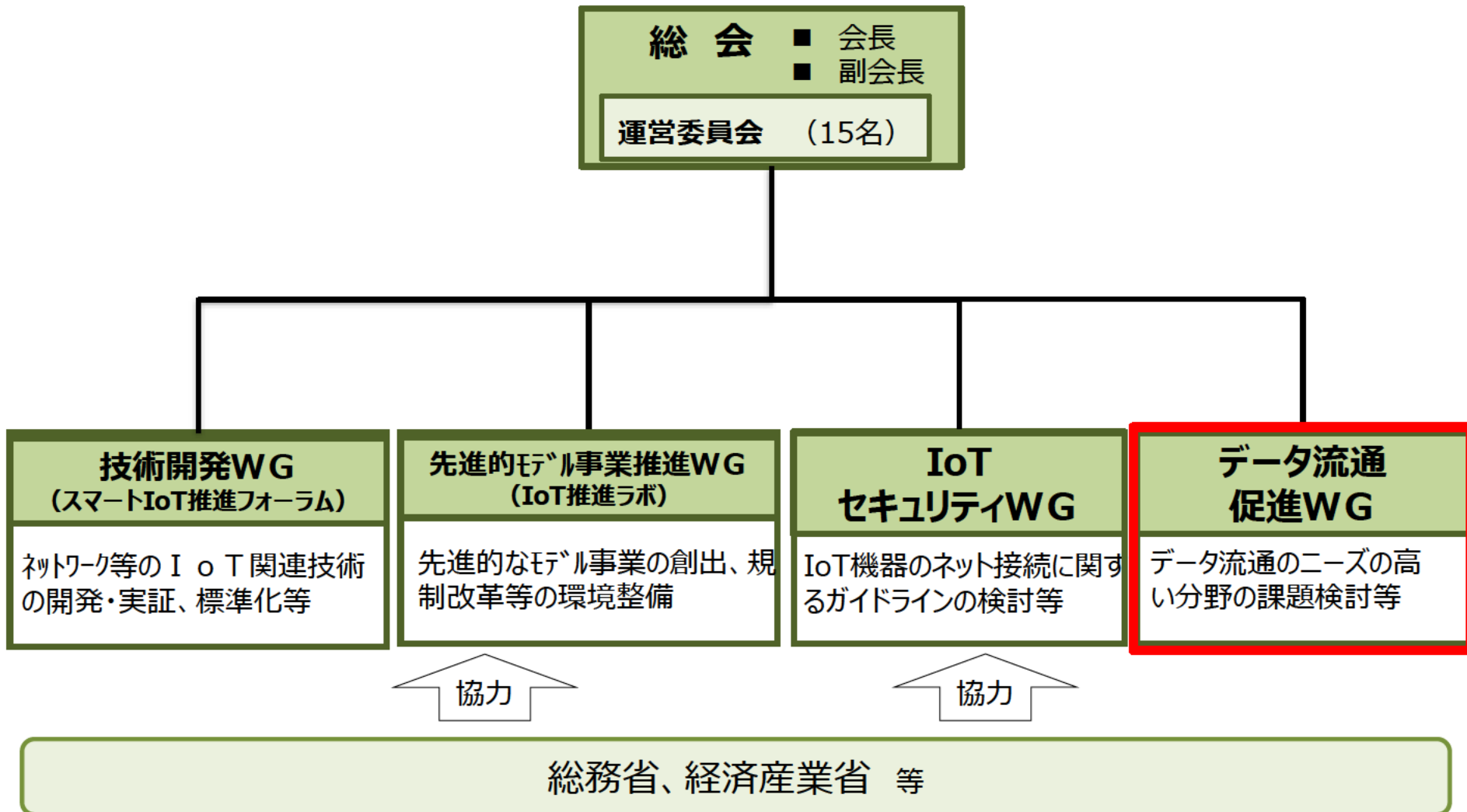


これまでの活動と今年度の 予定について

平成 2 9 年 6 月 2 日
データ流通促進WG事務局

データ流通促進WGの設置について

- IoT／ビッグデータ／人工知能時代に対応し、企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進するため、民主導の組織として「IoT推進コンソーシアム」を設立。（平成27年10月23日（金）に設立。）
- 技術開発、利活用、政策課題の解決に向けた提言等を実施。



平成28年度の活動について

会議体	実施形態	座長（敬称略）	検討内容	成果物（※）
データ流通促進WG	非公開 （一部、公開 で実施）	森川 博之 （東京大学）	BtoBデータ流通における課題等について、ユースケースを基に検討し、その前進に向けた助言を実施した。	新たなデータ流通取引に関する検討事例集ver1.0
カメラ画像利活用SWG	公開	菊池 浩明 （明治大学）	データ流通促進WGの作業部会として設置し、 社会環境の中に組み込まれているカメラによって取得される画像を利用する場合の、消費者に対しての透明性担保等の方法等 について、専門的な部分を検討した。	カメラ画像利活用ガイドブックver1.0
データ連携SWG	公開	柴崎 亮介 （東京大学）	データ流通促進WGの作業部会として設置し、IoTデータの売買を仲介するプラットフォームが複数立ち上がってきている中で、 協調領域としてプラットフォーム事業者同士が連携したり、他のプラットフォーム事業者の参入を促すために必要な取り組み （データカタログの作成、API連携など）について、ユースケースを基に検討した。	データ流通プラットフォーム間の連携を実現するための基本的事項

（※） <http://www.iotac.jp/wg/data/> 参照

業界・業種を横断したデータ流通の促進を目的として実施

【多くの事業者が抱えていた悩み】

- 市場や消費者の信頼をどのようにしたら得ることができるのか
 - ✓ データの扱い等について、適法性の担保のみならず、生活者のプライバシー侵害や、生活者が望まない形でデータが利用されることに対する漠然とした不安等からの炎上リスク（レピュテーションリスク）等も視野に入れなければ、我が国では継続的なビジネスを展開できない

【WG委員からの主な助言】

- 事業リスクは多様化しており、法制度の観点のみならず、プライバシー保護等の観点等を含めてリスク分析を実施したうえで、どこまで対応するか検討することが望ましいこと
- 炎上リスクについては、消費者がどう感じるかの部分が大きいため、消費者と丁寧に向き合うこと（消費者との信頼関係の構築）が重要であること
(対応例)
 - ✓ 取得する情報は必要最低限に止めること
 - ✓ 利用目的、利用範囲（第三者提供の有無、匿名加工情報としての扱いの有無などを含む）等を消費者にわかりやすく示すこと
 - ✓ 消費者の想像の範囲を超える利用はしないこと
 - ✓ 透明性の担保（本人からの問い合わせ・苦情に対応するために専用の窓口を設ける等）を行うこと など

業界・業種を横断したデータ流通の促進を目的として実施

【平成28年度の総括】

- 下記の観点から、データ利活用を後押しするという目的について、一定の成果が上げられた。
 - 本WGで相談があった事業者からは、委員からの助言を受けて、利用規約の改訂や、消費者に対する対応の改善等の検討・対応を行うなど、ビジネス化へ前進できたという声が寄せられた。
 - 更に、本WGの成果を明文化（事例集や各種ガイドブック等）して公開し、普及啓蒙活動を実施した。（産業構造審議会資料においても、データ利活用に係る制度整備の取り組みとして、本WGの活動が取り上げられた）

【今後必要なこと】

- 今後も産官学が連携し、データ流通に関する環境整備（このように対応すれば大丈夫であるという指針を示す等を含む）を進めることが、我が国の事業者が求めていることではないか。
 - 本WGの継続的な活動
 - ✓ 事例の積み上げ、継続課題の検討の実施（必要に応じて、事例集及びガイドブックの改訂等を実施）など
 - 普及啓蒙活動
 - ✓ 公開の場での討論、IoT推進ラボ合同イベント等での本取り組みの紹介 など

今年度の活動について

今年度の活動について（案）

■ データ流通促進WGの実施

- 開催は2～3か月に1回程度を予定（年度内6回程度予定）
（主な構成）

1. 事業者のユースケースの審議（原則、非公開で実施）

- データ流通を伴うビジネスに課題を持つ事業者を招聘し、技術的・制度的・社会受容性の視点等から、ビジネス展開の後押しとなるための助言を行う
- 実施回数は事業者からの相談事例の数によって調整（年度内4回程度予定）

2. データ流通に関する共通課題の意見交換（原則、公開で実施）

- データ流通に関するテーマや分野等を設定し、関連する事業者等を集めて共通課題等について議論する。（年度内1～2回程度予定）
- テーマについては、関係各所と調整中

■ 関連する作業部会（SWG）の実施

- 産業界の意向等を踏まえ、IoTデータ流通に関する専門的な内容を検討する場を適宜設置し、推進

■ その他

- データ流通促進WGで相談があった事例についての追跡調査を実施
- IoT推進ラボ合同イベント等と連携し、本取り組みの普及啓蒙活動等を適宜実施

平成29年度のデータ流通促進WGのスケジュール（案）

平成29年度のデータ流通促進WGのスケジュール案を下表に示す。なお、実施時期や回数等については、WG委員や事業者からの相談事例の数などによって調整するとともに、データ流通に関する共通課題の意見交換のテーマについては、産業界の意向等を踏まえ、設定する。

回次	開催時期	概要	開催形式
第14回	2017/4/20（木）	• 事業者のユースケース審議	非公開
第15回	2017/6/2（金）	• これまでの活動と今年度の予定 • データの利用権限に関する契約ガイドラインについて • 事業者のユースケース審議 ✓ 札幌市の事例	公開
第16回	2017/8/21（月）	• データ流通に関する共通課題の意見交換 ✓ テーマ：調整中	公開
第17回	2017/9～10月頃	• 事業者のユースケース審議 ✓ 2事例程度予定	非公開
第18回	2017/11～12月頃	• データ流通に関する共通課題の意見交換 ✓ テーマ：調整中	公開
第19回	2018/1～2月頃	• 本WGのまとめについて • SWG成果の報告 など	非公開

※上表の内容は予定・調整中含む